

# 視点・論点

## 6月定例会

6月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

### 総務文教委員会

委員長 長能 文代ながの ぶんよ

六月定例会で付託された四議案は、すべて可決されたが二件は賛成多数となった。

「春日市スポーツセンター条例の制定」は、温水プールの管理を指定管理者に行わせるために、指定管理者の管理基準及び業務の範囲などを定めるための条例であった。執行部から導入により経費の大幅な削減は見込めないが、市民サービスの向上等を図ることができるとの説明がされた。委員から「反対ではないが、なぜ今の嘱託職員ではサービスの向上ができないのか」「政府は、営利企業の参入を促し、市場競争の原理を働かせれば維持管理費の削減等につながる」といった意見が、全国的には施設の公共性や安定性が損なわれるなどの



スポーツセンター温水プール

実態があり賛成できない」との意見が出された。

平成二十年度一般会計補正予算(第一号)では、反対意見として「公費負担医療事務処理システムの就学前までの拡大など前進面もあるが、福祉三医療については所得制限が含まれていない」と。また、新南部工場関連については、大規模な経費投入による建設には賛同できない」と等の意見が出された。

### 市民厚生委員会

委員長 塚本 良治つかもと りょうじ

当委員会に付託された、議案六件、報告三件、請願一件について審査いたしました。

請願を除く議案等については全員が原案を可決・承認することに賛成しました。

「春日市児童センター条例の制定」については、施設の目的を十分熟慮して業者選定を行うようこの要望が出されており、賛成に同意された。

「春日市乳幼児医療助成条例の一部を改正する条例の制定」については財源の問題はあるが、所得制限や、自己負担をなくす



大土居の毛勝児童センター

ようこの要望が出されました。

請願第一号「妊婦健診の拡充と早期実施を求める請願について」健診の回数や助成額について、慎重に審査する必要があるとの継続審査にすべきではないかとの意見が出され、採決を行ったところ、全員が継続審査に賛成しました。

### 地域建設委員会

委員長 松尾 嘉三まつお けいぞう

今期定例会において付託された議案は四件であった。

「人権擁護委員の候補者の推薦」については、任期満了に伴い、引き続き羽井勇次氏を候補者として推薦するものであり、全員賛成にて同意された。

「春日市都市公園条例の一部を改正する条例の制定」については、ウトロ中池隣接の住宅地擁

壁崩壊防止などを目的とした、池の埋め立てに伴い、緑地を廃止するものであった。埋め立てに関する近隣住民対策、擁壁の補償責任の所在等、活発な質疑がなされた。現地調査を行い、全員賛成にて可決された。

「春日市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定」については、JR春日駅西側に新たに自転車駐車場を設置し、利用者の利便性の向上を図るものであった。現地調査を行い、全員賛成にて可決された。

「財産の交換については、ウトロ中池緑地を公共用地の有効な活用と適切な管理を図るため、財産を交換するものであった。不動産評価を行った不動産鑑定士の選定、土地評価の正当性、造成費の負担等、活発な質疑がなされた。現地調査を行い、全員賛成にて可決された。



埋め立てられたウトロ中池